

看護職の働き方改革



日本看護協会では、看護職の働き方改革に向けて、病院および有床診療所を対象として「2019年病院および有床診療所における看護実態調査」を実施しています。

有床診療所では初めの実施

これまで「病院看護実態調査」の名称で全国の病院を対象に実施していましたが、本年度は初めて有床診療所を対象に加えた調査となっています。

●調査期間

9月2日(月)～9月30日(月)

全国のおよそ8,300病院の全数調査と、全国から無作為に抽出した2,500有床診療所に調査票をお送りしてご協力をお願いするものです。本調査の趣旨をご理解いただき、看護管理者の皆さまには施設調査、看護職員の方には職員調査へのご回答をお願いします。対象となった有床診療所の皆さまへは、9月初めに調査票をお送りしています。

この調査は、看護職員の確保・定着や働き方改革への対応状況をはじめとして、労働環境に関する実態を把握することや、看護職員が安心して働き続けられる職場づくり、持続可能な働き方の実現に向けた本会事業や政策提言に活用する資料を得ることを目的として行っています。

多様な勤務、夜勤・交代制勤務、ワーク・ライフ・

○調査項目

施設調査 (病院・有床診療所)	職員調査 (看護職員調査)
<ul style="list-style-type: none"> ・病院、有床診療所の属性、看護職員の体制 ・看護職員の採用・離職の状況 ・労働環境 ・夜勤・交代制勤務 ・働き方改革への対応状況 ・ワーク・ライフ・バランス、多様な勤務形態の導入 ・ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)、暴力・ハラスメント対策 ・キャリア支援 ・賃金・処遇の状況など 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職の個人属性 ・就業継続意向 ・キャリア、経験、資格など ・労働環境(所定労働時間、時間外勤務時間、年次有給取得率、夜勤回数など夜勤負担の状況、給与額、手当額、ワーク・ライフ・バランスなど) ・ストレス、身体症状、疲労度、自覚的健康度など

バランス、ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)、暴力・ハラスメント対策、キャリア支援や評価・処遇の状況など、看護職員の労働環境を中心とした調査となっています。また、看護職をはじめ医療関係者の関心の高い離職率などのデータも本調査から経年的に把握されています。

結果は、看護職の皆さまが安心して働き続けられる職場づくり、持続可能な働き方の実現に向けて広く活用いたします。また、調査の結果は報告書として本年度内に発行します。

●施設調査(病院・有床診療所)
【対象】病院は看護管理代表者、有床診療所は院長
【回答方法】記入式調査票(紙)にて回答をお願いします。

●職員調査(病院・有床診療所)
【対象】各施設の院長、看護管理代表者様を通して配布される調査への回答の依頼文書をお持ちの看護

職員の方

【回答方法】本会 HP にある「職員調査の回答専用ページ」(<https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/research2019.html>)にアクセスして Web 上で回答をお願いします(右のパナからアクセスできます)。

●問合せ先

【調査票の返信、Web 調査に関する問合せ先】

日本能率協会総合研究所 学術研究支援部 看護実態調査係(調査委託先機関)

☎ 0120-317-444

平日 10:00～17:00 (12:00～13:00 を除く)

【調査内容に関する問合せ先】

日本看護協会 労働政策部

☎ 03-5778-8553

平日 10:00～17:00 (12:00～13:00 を除く)

病院および有床診療所における看護実態調査

調査期間

9月30日(月)



病院を対象とした調査

施設調査

対象: 全国の病院(約8,300病院)

病院に送付の調査票にて、ご回答をお願いします。

職員調査

病院長様、看護管理代表者様を通してご依頼した各病院10人の看護職員

本会HPからご回答をお願いします。インターネット(Web)調査です。

有床診療所を対象とした調査

施設調査

対象: 全国の有床診療所から無作為抽出の2,500施設

施設に送付の調査票にて、ご回答をお願いします

職員調査

院長様、看護管理代表者様を通してご依頼した各施設5人の看護職員

本会HPからご回答をお願いします。インターネット(Web)調査です。